

# 向陽中学校 学校運営協議会

第37号

# ただより



Cover  
Talk!

## わくわくレッスン

10月8日(土)

向陽祭にむけて3年生  
を対象に、学校運営協  
議会委員十亀章子さん  
をはじめ地域在住の専  
門家の方々による合唱  
指導がありました。

指導者

小貫 岩夫さん

小貫 美樹さん

十亀 章子さん





## ユネスコスクール登録にむけた 向陽中学校のチャレンジについて

皆さんは、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)をご存じでしょうか? ユネスコ憲章前文には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。すなわちユネスコは、心の中の平和を築くことを、教育・科学・文化の分野で探究していくために1946年に設立されました。その後1953年に、学校などの教育の場でユネスコの理念を実践するために、国際的な学校間ネットワークAssociated Schools Network (ASPNet)が発足しました。日本では、ASPNetに加盟が認められた学校を「ユネスコスクール」と呼んでいます。

では、「心の中の平和を築く」ことを探究するというのはどういうことでしょうか? 教員にとっては「持続可能な社会の担い

手を育む教育」を行うこと、そして生徒の皆さんは「持続可能な社会」をつくる取り組みに参加することです。何かすごく難しいことをやらなければならないのではなく、皆さんが向陽中学校の授業や校外学習で日ごろから取り組んでいる、「海洋」や「平和」に関する学びがまさにそれにあたります。また地域の方々と連携してイベントや部活動を進めていくことも、その取り組みに含まれます。

向陽中学校は、2021年12月にユネスコスクール登録の審査を受けるためのチャレンジ期間をスタートし、2023年9月にチャレンジ期間を終えます。その後、文部科学省による国内審査を通過すればユネスコスクール・キャンディデイト、さらにフランスのユネスコ本部での本審査を通過すれば、晴れてASPNetに加盟し、ユ

ネスコスクールとなります。ユネスコスクールになった後も、何か特別なことをする必要はなく、向陽中学校の伝統的な学びや地域とのつながりを大切に、先生方がSDGsを意識して進めてくださる授業に積極的に参加していくことが大切です。

現在日本には、ユネスコスクールが1,112校あり、キャンディデイトとなった時点から、国内や海外のASPNetの学校同士での交流や活動にも参加できるようになります。なお、杉並区の公立学校では西田小学校と杉並総合高等学校がユネスコスクールとして活動しています。向陽中学校が、ユネスコスクールに登録される区内で最初の中学校になるのを楽しみに、サポートさせていただきたいと思っています。



向陽中学校  
学校運営協議会委員  
成蹊大学教授  
財城 真寿美

1月14日(土)  
土曜公開授業  
(1学年)  
海洋学習



講師

田中 一秀さん

- ・サイエンスイラストレーター
- ・成蹊学園サステナビリティ教育センター客員フェロー  
(研究テーマ)「海洋環境と海洋生物の教材開発」
- ・日本動物園水族館教育研究会員 (JZAE)
- ・日本魚類学会員・稚魚研究会員
- ・海洋生物アウトリーチ研究会員(中高生海洋生物学シンポジウム運営チーム)
- ・日本板鰐類研究会員(サメ・エイ類)
- ・日本水中科学協会員 (JAUS)
- ・アイサーチャジャパン会員(国際イルカ・クジラ教育リサーチセンター)
- ・金生山化石研究会員・日本カブトガニを守る会 福岡支部会員

## 第7回 10月26日(水)

教務・生活指導・進路指導主任および各学年主任の先生方へ出席いただいた。校外の施設で開催された「合唱コンクール」、「生徒会主催の討論会」「合唱わくわくレッスン」「平和についての講演」「防災講話」等の報告があった。また、ユネスコ加盟申請についても報告があった。生徒並びに保護者向けアンケートについて、回答率の低さから締め切りを延長した旨説明をした。「学校運営協議会だより」36号配布。

## 質疑応答

- Q.**2年生生徒数名による問題行動について、先生方の対応は一致しているか。
- A.**大声で怒らず、諭すようにゆっくりと接する、根気強く指導する、のように対応を統一している。
- Q.**先生方のメンタルが心配という話が出たが、先生方の相談先はあるのか。
- A.**スクールカウンセラーは生徒のみ。長時間労働者に対してなどは管理職や産業医が話を聞いている。管理職の長時間労働も問題。
- Q.**いじめ等に限らず「あたり前ではないこと」が起こった場合は、先生方の身を守るためにもメモなど記録を残しておいてほしい。
- A.**年度初めより各学年や生活指導部で記録を残し情報共有をするように指導している。
- Q.**クラウド等を活用し、先生方の情報共有用掲示板を作成したらどうか。
- A.**公務用PCに「C4th(シーフォース)」という教員用情報共有システムがあり、連絡事項を全員に周知できるようになっている。
- Q.**都立高校の受験システムが毎年変わるということだが、どのような変更があるのか。
- A.**都立高校では男女別定員となっているが、男女合同定員へ移行が進んでいる(22年度入学者選抜で男女不問枠10%、23年度は20%、24年度からは枠撤廃予定)。また、今年度から都立もインターネット出願となったが、生徒→学校→家庭という流れのため煩雑なやりとりが生じている。さらに、都教育委員会からの都立高校募集案内資料が学校の進路指導説明会の後に到着するため、2度手間となり苦戦している。

## 第8回 11月28日(月)

生徒たちが、多くの地域の行事にボランティアとして参加したこと、また、杉並消防署で行われた表彰式に参加した旨報告があった。令和5年度「自立的・協働的な学校づくり」の予算要望は、不登校・学習支援・日本語指導支援のための講

師謝礼を申請する予定と報告があった。学校だより中面記載の学力調査の結果について研究主任教諭より説明があった。校長先生から結果の考え方について補足説明があった。

## 質疑応答

- Q.**全国調査の国語の「読むこと」を見ると、全国平均より6ポイント上回っているが、杉並区で見ると2、3パーセント下回っている。これは、相対的に見て、杉並区のレベルが高いということか。
- A.**杉並区全体のレベルが、都内の平均より高い印象を受ける。できる生徒が多いという印象である。が、先程も述べたように2極化しているのも不安視している。できる生徒が非常に多く、やはり何人か取りこぼしている生徒がいて、そのような生徒が、特定課題に対する調査意識・実態調査で、なかなか点が取れなかった現状もある。先程も言われていたように、区全体の平均が高いのは事実である。
- Q.**理科の課題の部分で、問題文の理解が不十分だという指摘があり、問題文を読むことにつながっているため、因果関係が気になったので質問をした。
- A.**理科も数学も言い回しが独特であり、その言い回しに慣れていなかったということ、練習が足りていなかったのではないかと思う。最近、入試問題も国語以外にどの教科においても問題文が長文化の傾向がある。特に、国語の長文読解に慣れていかないと、他の評価も取れなくなる。ここ数年の都立の入試傾向である。数学科の授業の中で、この問題を解きなさい、答えを出さないというやり方から、お互いの考え方を説明し合いなさいという活動が増えている。全教科にまたがって言語能力がつけられるように意識できたら良いと思う。
- Q.**この流れはどこからきているのか、国なのか東京都の考えなのか、また、海外の先進国ではどうなのか。
- A.**学習指導要領の改訂により、知識を問うだけでなく大学受験に沿って行っているところが大きい。また、国際教育到達度評価学会が進めている国際学力調査TIMSSの結果を見て、日本人は説明や理論的に問うことが足りないということを受けて、学習指導要領が書き換えられていると聞いたことがある。
- Q.**オンライン学活等、定期的にオンラインでつながる機会を持っているのか。
- A.**定期的には行っていないが、先週学年閉鎖になった2年生3クラスが行っていた。一部オンラインで朝学活や授業も行っている。

## 第9回 12月26日(金)

税についての作文、標語表彰式があり本校の生徒が受賞、また、また、「杉並区中学校対抗駅伝大会」「中学生小笠原自然体験交流事業」等の報告もあった。「生徒並びに保護者アンケート」結果について協議した。本校PTAからの相談に対する当協議会の一連の対応についての報告を行った。

## 質疑応答

- Q.**プール更衣室に関して、生徒から再度改修要望が出ているが、昨年どのような修理をしたのか。
- A.**換気扇を交換し、床の排水溝も設置した。ただ、すのこの上にフェルトマットを敷いており、それが乾かずいる可能性がある。来年度までに対応を検討したい(現在改善済み)。

## 第10回 1月24日(火)

令和4年度「自立的・協働的な学校づくり」予算を要望の報告。「向陽こどもまつり」や、高校受験の日程等について説明があった。体罰調査を実施し、調査票に記入している生徒について聞き取り中である旨報告があった。引き続き「生徒並びに保護者アンケート」結果について協議した。

## 第11回 2月22日(火)

「スキー教室」実施報告があった。卒業式に関して国歌、区歌は清聴、校歌はマスクを着用し斉唱、卒業証書については検討中であると説明があった。部活動の運営・指導・引率等今後の部活動の在り方も含め学校より提案と説明があった。学校関係者評価委員会にて、令和4年度学校経営方針(学校経営計画)の自己評価および考察に対する評価を行った。校長より提示された「令和5年度教育課程について」の承認を行った。

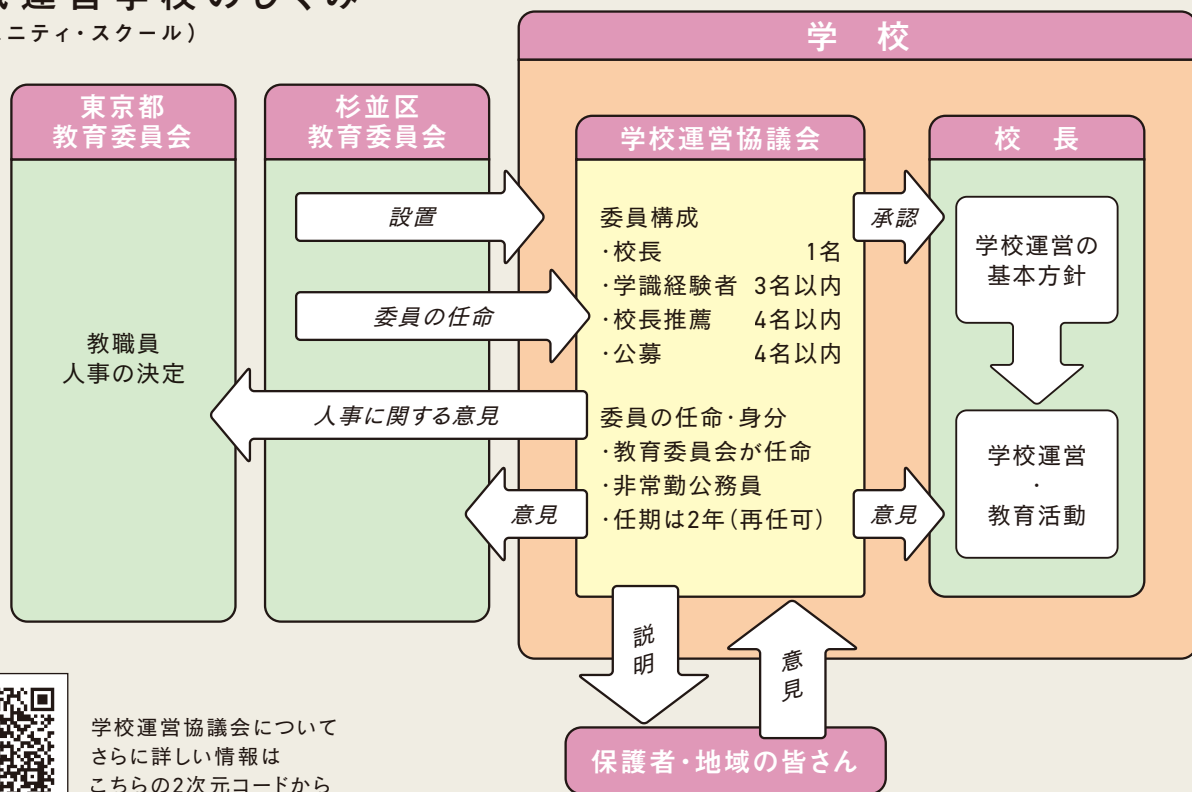
## 質疑応答

- Q.**給食の無償化について中学校PTA協議会で話題にあがっているのか。
- A.**今現在はあがっていない。
- Q.**保護者から学校への問い合わせ先を、ひとつにまとめたほうが良いのではないか。
- A.**次年度は、学年だより問い合わせ先を明記し、対応の難しい件については校長・副校長で対応していくよう検討する。



# 地域運営学校のしくみ

(コミュニティ・スクール)



学校運営協議会についてさらに詳しい情報はこちらの2次元コードから

## Topics!

令和4年度

### 生徒ならびに保護者アンケート調査結果

向陽中学校運営協議会は、平成17年(2005年)に杉並区が初めて地域運営学校として指定した4校の一つです。その初年度から18年間にわたり生徒・保護者の皆様に独自のアンケート調査を行ってまいりました。

生徒と保護者の認識の相違点を検証するとともに、3年間の経年変化を比較し、問題点を早期に発見し予防することを目的としています。特に、学校生活の充実度や、授業充実度などをポイント化して調べ、学年別・教科別に問題点を探っています。さらに、日頃聞くことができない生徒・保護者の生の声を拾い上げ、特に重要な質問や全体にかかわる問題に関しては、校長先生に対応をお願いしております。

3月4日(土)に、PTA新旧事務局の皆様約20名にお集まりいただき、アンケート調査結果に関する保護者説明会を行いました。コロナ禍の2年間はオンライン開催でしたが、今回は対面

式での説明会となり、参加者の皆様からは率直なご意見を多数いただきました。

主な意見としては、授業の進め方、副教材の内容見直し、高校受験に関する情報、課題の出し方、計画表の活用についてなど、学習面での質問・要望が多数でした。なお、今回のアンケート結果の詳細は、東昇降口に掲示いたします。

今後も、皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、生徒たちの学校生活、学習環境の改善に努めてまいります。

\*今年度の保護者アンケートはGoogleフォームにて回答をお願いしております。



保護者説明会



ダンス部(すぎなみ舞祭)

## 退任のご報告

鈴木 祐二  
(NPOすぎなみ子どもサポート代表)

齋藤 敬  
(向陽スポーツ文化クラブ副会長)

齋藤敬さんより「今後は、KSCCの立場から向陽中と地域に貢献します」とお言葉をいただきました。